

令和6年度

仙台市高速鉄道事業会計
決算説明資料

1. 決算の概況	…	P2
2. 事業実績表	…	P3～P5
3. 予算決算比較表	…	P6～P15
4. 建設改良事業の概要	…	P16

仙台市交通局

1. 決算の概況

本年度の高速鉄道事業は、乗車料収入については、新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準以上に回復する一方で、電力価格等の高騰が続く厳しい経営状況のなか、「仙台市交通事業経営計画」の4つの戦略「安全・安心の推進」、「快適なお客さまサービスの提供」、「まちづくりへの貢献」、「持続可能な経営の確保」に基づき、各種取組みを進めてまいりました。

施設設備の計画的な維持更新の取組みとして、南北線において、令和6年10月に新型車両の1編成目の営業運転を開始したほか、老朽化した電力管理システム等の更新を実施しました。また、危機・自然災害への対応の取組みとして、大地震の発生を想定した防災訓練や、弾道ミサイルの飛来を想定した避難訓練を実施しました。

利用しやすい環境整備の取組みとして、前年度に引き続きホームと車両の隙間縮小事業を進めたほか、新紙幣に対応するため、駅構内にある券売機及び精算機の更新を進めるなど利便性の向上に努めました。

公共交通の利用促進の取組みとして、家族連れの利用喚起等を目的とした小児運賃無料化の実証実験を実施したほか、「東北絆まつり2024 仙台」等の大型イベントの開催に合わせ、「仙台 MaaS」にて地下鉄両線を低廉に利用できる地下鉄24時間券・36時間券を販売しました。

経営の健全化の取組みとして、20駅における駅業務委託を継続したことに加え、令和7年度からの南北線における駅業務委託の対象駅の追加に向けた準備を行ったほか、近年の経営環境の変化を踏まえた新たな交通事業経営計画の策定に向け、引き続き検討を進めました。

このような状況のなか、乗客数は93,233千人（1日平均255,432人）と前年度に比較して3,097千人、3.4パーセントの増、乗車料収入（消費税及び地方消費税抜き）は159億7千6百万円（敬老乗車証負担金及びふれあい乗車証負担金を含む。）と前年度に比較して4億7千5百万円、3.1パーセントの増となりました。本年度における収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）につきましては、前年度に比較して2億8千万円改善し、4億7千3百万円の純損失となり、当年度未処理欠損金は986億1千3百万円となっております。

今後も、車両更新等の大規模な施設設備の更新にかかる企業債の償還負担や、物価上昇に伴う経費の増嵩等もあいまって、引き続き厳しい経営環境が見込まれますが、本市における基幹交通機関として市民生活において重要な役割を果たせるよう、経営計画に基づく各種取組みを推進するとともに、令和8年度からの新たな計画の策定を進め、安全・安心を最優先とした持続可能な経営を目指してまいります。

2. 事業実績表

(南北線+東西線)

区分	年度	単位	令和6年度 (C)	令和5年度 (D)	対前年度比較	
					増減(△減) (C)-(D)	比率 (C)/(D)%
営業	キロ	km	28.7	28.7	0.0	100.0
在籍	車両	両	148	144	4	102.8
年間走行	キロメートル	km	11,465,777	11,776,052	△ 310,275	97.4
乗客数	定期外 (A)	人	40,844,831	40,115,208	729,623	101.8
	定期	人	52,387,920	50,020,500	2,367,420	104.7
	計 (B)	人	93,232,751	90,135,708	3,097,043	103.4
	一日当り	人	255,432	246,272	9,160	103.7
乗車料収入	定期外	千円	9,113,364	8,937,148	176,216	102.0
	定期	千円	6,863,024	6,563,553	299,471	104.6
	計	千円	15,976,388	15,500,701	475,687	103.1
	一日当り	千円	43,771	42,352	1,419	103.4
職員 (管理者除く)	数	人	435	437	△ 2	99.5
輸送人員定期外比率 (A)/(B)		%	43.8	44.5	△ 0.7	—

(注) 乗車料収入の金額は、消費税及び地方消費税抜きである。

(参考) 事業実績表路線別内訳 (南北線)

区 分	年 度	単 位	令和6年度 (C)	令和5年度 (D)	対 前 年 度 比 較	
					増減(△減) (C)-(D)	比 率 (C)/(D)%
営 業	キ 口	km	14.8	14.8	0.0	100.0
在 籍	車 両	両	88	84	4	104.8
年間走行キロメートル		km	6,159,535	6,312,852	△ 153,317	97.6
乗 客 数	定 期 外	人	29,963,333	29,544,811	418,522	101.4
	定 期	人	40,670,700	38,942,880	1,727,820	104.4
	計	人	70,634,033	68,487,691	2,146,342	103.1
	一 日 当 り	人	193,518	187,125	6,393	103.4
乗 車 料 収 入	定 期 外	千円	6,725,148	6,603,392	121,756	101.8
	定 期	千円	4,990,112	4,794,032	196,080	104.1
	計	千円	11,715,260	11,397,424	317,837	102.8
	一 日 当 り	千円	32,097	31,141	956	103.1

- (注) 1 乗車料収入の金額は、消費税及び地方消費税抜きである。
 また、乗客数は南北線と東西線の乗換え分をそれぞれ含んでいる。
- 2 乗車料収入の金額は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値とP3における当該項目の数値が一致しない場合がある。

(参考) 事業実績表路線別内訳 (東西線)

区 分	年 度	単位	令和6年度 (C)	令和5年度 (D)	対 前 年 度 比 較	
					増減(△減) (C)-(D)	比 率 (C)/(D)%
営 業	キ 口	km	13.9	13.9	0.0	100.0
在 籍	車 両	両	60	60	0	100.0
年間走行キロメートル		km	5,306,242	5,463,200	△ 156,958	97.1
乗 客 数	定 期 外	人	13,105,392	12,784,156	321,236	102.5
	定 期	人	18,541,800	17,571,060	970,740	105.5
	計	人	31,647,192	30,355,216	1,291,976	104.3
	一 日 当 り	人	86,704	82,938	3,766	104.5
乗車料収入	定 期 外	千円	2,388,216	2,333,756	54,460	102.3
	定 期	千円	1,872,912	1,769,521	103,391	105.8
	計	千円	4,261,128	4,103,277	157,851	103.8
	一 日 当 り	千円	11,674	11,211	463	104.1

- (注) 1 乗車料収入の金額は、消費税及び地方消費税抜きである。
また、乗客数は南北線と東西線の乗換え分をそれぞれ含んでいる。
- 2 乗車料収入の金額は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値とP3における当該項目の数値が一致しない場合がある。

3. 予算決算比較表

収益的収入（南北線+東西線）

（単位：千円）

区 分 科 目	令和6年度予算額				令和6年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	合計 (A)		
高速鉄道事業収益	23,178,875	102,874	0	23,281,749	23,068,859	△ 212,890
営業収益	19,107,348	102,874	0	19,210,222	18,905,003	△ 305,219
運輸収益	17,501,644	102,874	0	17,604,518	17,452,196	△ 152,322
運輸雑収益	1,605,704	0	0	1,605,704	1,452,807	△ 152,897
営業外収益	4,069,744	0	0	4,069,744	4,163,072	93,328
受取利息及び配当金	422	0	0	422	1,940	1,518
他会計補助金	212,653	0	0	212,653	204,052	△ 8,601
長期前受金戻入	3,817,575	0	0	3,817,575	3,811,535	△ 6,040
雑収益	39,094	0	0	39,094	145,545	106,451
特別利益	1,783	0	0	1,783	784	△ 999
過年度損益修正益	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000
その他特別利益	783	0	0	783	784	1

（注）消費税及び地方消費税込みの額である。

3. 予算決算比較表

収益的支出（南北線+東西線）

（単位：千円）

区 分 科 目	令和6年度予算額				令和6年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額 (△減)	合計 (A)		
高速鉄道事業費用	24,607,546	△ 631,619	0	23,975,927	23,118,093	△ 857,834
営業費用	22,899,212	△ 730,964	△ 3,837	22,164,411	21,357,584	△ 806,827
人件費	4,421,527	△ 211,964	0	4,209,563	4,072,566	△ 136,997
経費	9,172,325	△ 519,000	△ 3,837	8,649,488	8,020,484	△ 629,004
減価償却費	9,305,360	0	0	9,305,360	9,264,534	△ 40,826
営業外費用	1,657,334	99,345	3,837	1,760,516	1,760,509	△ 7
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,406,956	△ 49,000	△74,437	1,283,519	1,283,514	△ 5
消費税及び地方消費税	249,378	148,345	79,241	476,964	476,963	△ 1
雑支出	1,000	0	△ 967	33	32	△ 1
特別損失	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000
過年度損益修正損	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000
予備費	50,000	0	0	50,000	0	△ 50,000

（注）消費税及び地方消費税込みの額である。

3. 予算決算比較表

収益的収支（南北線+東西線）

（単位：千円）

区 分 科 目	令和6年度予算額				令和6年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額	合計 (A)		
高速鉄道事業収益（再掲）	23,178,875	102,874	0	23,281,749	23,068,859	△ 212,890
高速鉄道事業費用（再掲）	24,607,546	△ 631,619	0	23,975,927	23,118,093	△ 857,834
当年度純損益（税込み）	△ 1,428,671	734,493	－	△ 694,178	△ 49,234	644,944
当年度純損益（税抜き）	△ 1,989,070	833,480	－	△ 1,155,590	△ 473,126	682,464

繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 98,139,728	0	－	△ 98,139,728	△ 98,139,728	0
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	△ 100,128,798	833,480	－	△ 99,295,318	△ 98,612,854	682,464

（注）消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益（税抜き）、繰越利益剰余金及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

(参考) 収益的収支路線別予算決算比較表 (南北線)

(単位：千円)

区 分 科 目	令 和 6 年 度 予 算 額				令和6年度 決算額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額 (△ 減)	合 計 (A)		
高速鉄道事業収益	15,303,569	124,267	0	15,427,836	15,240,163	△ 187,673
営業収益	13,911,429	124,267	0	14,035,696	13,817,179	△ 218,517
運輸収益	12,808,852	124,267	0	12,933,119	12,791,578	△ 141,541
運輸雑収益	1,102,577	0	0	1,102,577	1,025,602	△ 76,975
営業外収益	1,390,357	0	0	1,390,357	1,422,200	31,843
受取利息及び配当金	317	0	0	317	1,417	1,100
他会計補助金	152,829	0	0	152,829	145,348	△ 7,481
長期前受金戻入	1,203,636	0	0	1,203,636	1,197,420	△ 6,216
雑収益	33,575	0	0	33,575	78,015	44,440
特別利益	1,783	0	0	1,783	783	△ 1,000
過年度損益修正益	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000
その他特別利益	783	0	0	783	783	0
高速鉄道事業費用	12,505,379	△ 343,409	△ 17,902	12,144,068	11,672,205	△ 471,863
営業費用	11,567,984	△ 449,025	△ 1,995	11,116,964	10,676,105	△ 440,859
人件費	2,721,136	△ 156,665	0	2,564,471	2,511,871	△ 52,600
経費	5,259,997	△ 292,360	△ 1,995	4,965,642	4,612,963	△ 352,679
減価償却費	3,586,851	0	0	3,586,851	3,551,271	△ 35,580
営業外費用	906,395	105,616	△ 15,907	996,104	996,100	△ 4
支払利息及び	656,017	△ 34,000	△ 59,753	562,264	562,261	△ 3
企業債取扱諸費	249,378	139,616	44,822	433,816	433,816	△ 1
消費税及び地方消費税	1,000	0	△ 976	24	24	0
雑支出	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000
特別損失	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000
過年度損益修正損	1,000	0	0	1,000	0	△ 1,000
予備費	30,000	0	0	30,000	0	△ 30,000
当年度純損益(税込み)	2,798,190	467,676	17,902	3,283,768	3,567,958	284,190

(注) 1 消費税及び地方消費税込みの額である。

なお、路線別の内訳は、一部、運輸収益比や営業キロ比等により按分をしている。

2 表中に用いた数値は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値とP6～P8における当該項目の数値が一致しない場合がある。

(参考) 収益的収支路線別予算決算比較表 (東西線)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和6年度予算額				令和6年度 決算額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額 (△ 減)	合 計 (A)		
高速鉄道事業収益	7,875,306	△ 21,393	0	7,853,913	7,828,696	△ 25,217
営業収益	5,195,919	△ 21,393	0	5,174,526	5,087,824	△ 86,702
運輸収益	4,692,792	△ 21,393	0	4,671,399	4,660,619	△ 10,780
運輸雑収益	503,127	0	0	503,127	427,205	△ 75,922
営業外収益	2,679,387	0	0	2,679,387	2,740,872	61,485
受取利息及び配当金	105	0	0	105	524	419
他会計補助金	59,824	0	0	59,824	58,703	△ 1,121
長期前受金戻入	2,613,939	0	0	2,613,939	2,614,115	176
雑収益	5,519	0	0	5,519	67,530	62,011
高速鉄道事業費用	12,102,167	△ 288,210	17,902	11,831,859	11,445,888	△ 385,971
営業費用	11,331,228	△ 281,939	△ 1,842	11,047,447	10,681,479	△ 365,968
人件費用	1,700,391	△ 55,299	0	1,645,092	1,560,696	△ 84,396
経費	3,912,328	△ 226,640	△ 1,842	3,683,846	3,407,521	△ 276,325
減価償却費	5,718,509	0	0	5,718,509	5,713,262	△ 5,247
営業外費用	750,939	△ 6,271	19,744	764,412	764,410	△ 2
支払利息及び	750,939	△ 15,000	△ 14,684	721,255	721,253	△ 2
企業債取扱諸費	0	8,729	34,419	43,148	43,148	△ 1
消費税及び地方消費税	0	0	9	9	9	0
雑支出	20,000	0	0	20,000	0	△ 20,000
予備費	0	0	0	0	0	0
当年度純損益(税込み)	△ 4,226,861	266,817	△ 17,902	△ 3,977,946	△ 3,617,192	360,754

(注) 1 消費税及び地方消費税込みの額である。

なお、路線別の内訳は、一部、運輸収益比や営業キロ比等により按分をしている。

2 表中に用いた数値は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値とP6～P8における当該項目の数値が一致しない場合がある。

3. 予算決算比較表

資本的収入（南北線+東西線）

（単位：千円）

区 分 科 目	令和6年度予算額					令和6年度 決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	増減額 (△減) (B)+(C)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額	繰越額	合計 (A)			
高速鉄道事業 資本的収入	9,615,716	△ 127,820	0	15,000	9,502,896	8,017,523	960,000	△ 525,373
企業債	6,017,000	△ 103,000	0	12,000	5,926,000	4,754,000	768,000	△ 404,000
特例債	493,000	0	0	0	493,000	493,000	0	0
平準化債	1,283,000	0	0	0	1,283,000	1,283,000	0	0
資本費負担緩和分 企業債（借換）	292,000	0	0	0	292,000	292,000	0	0
出資金	1,252,000	△ 25,000	0	3,000	1,230,000	928,000	192,000	△ 110,000
他会計補助金	117,367	0	0	0	117,367	114,117	0	△ 3,250
国庫補助金	0	180	0	0	180	41	0	△ 139
その他 資本的収入	161,349	0	0	0	161,349	153,365	0	△ 7,984

（注）消費税及び地方消費税込みの額である。

3. 予算決算比較表

資本的支出（南北線+東西線）

（単位：千円）

区 分 科 目	令和6年度予算額					令和6年度 決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	増減額 (△減) (B)+(C)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額	繰越額	合計 (A)			
高速鉄道事業 資本的支出	16,322,346	△128,226	0	15,004	16,209,124	14,732,732	960,632	△515,760
建設改良費	6,439,867	△128,226	0	15,004	6,326,645	4,880,366	960,632	△485,647
企業債償還金	9,852,369	0	0	0	9,852,369	9,852,366	0	△3
投 資	100	0	0	0	100	0	0	△100
その他の 資本的支出	10	0	0	0	10	0	0	△10
予 備 費	30,000	0	0	0	30,000	0	0	△30,000

（注）消費税及び地方消費税込みの額である。

3. 予算決算比較表

資本的収支（南北線+東西線）

（単位：千円）

区 分 科 目	令和6年度予算額					令和6年度 決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	増 減 額 (△ 減) (B)+(C)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額	繰越額	合 計 (A)			
高速鉄道事業 資本的収入(再掲)	9,615,716	△ 127,820	0	15,000	9,502,896	8,017,523	960,000	△ 525,373
高速鉄道事業 資本的支出(再掲)	16,322,346	△ 128,226	0	15,004	16,209,124	14,732,732	960,632	△ 515,760
差 引	△ 6,706,630	406	0	△ 4	△ 6,706,228	△ 6,715,209	△ 632	△ 9,613

補 て ん 財 源	3,893,538	634,233	48,015	1,364	4,577,150	5,082,760	87,330	592,940
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	555,756	△ 11,657	0	1,364	545,463	419,654	87,330	△ 38,479
損益勘定留保資金	6,120,510	△ 187,590	48,015	0	5,980,935	5,929,890	0	△ 51,045
当年度純損益	△ 1,989,070	833,480	0	0	△ 1,155,590	△ 473,126	0	682,464
前年度繰越金	△ 793,658	0	0	0	△ 793,658	△ 793,658	0	0
資 本 費 負 担 緩和分企業債	560,000	△ 49,000	0	0	511,000	511,000	0	0
当年度末資金剰余額	△ 2,253,092	585,639	48,015	1,360	△ 1,618,078	△ 1,121,449	86,698	583,327

（注）消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、補てん財源及び当年度末資金剰余額については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

○ 資金不足比率 （単位：千円，％）

資金不足額（※1） (a)	事業規模（※2） (b)	資金不足比率 (a)/(b)
0	17,313,947	-

※1 資金不足額については、解消可能資金不足額24,172,161千円を控除した額である。

※2 事業規模＝営業収益－受託工事収益（消費税及び地方消費税抜き）

(参考) 資本的収支路線別予算決算比較表 (南北線)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和6年度予算額					令和6年度 決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	増 減 額 (△ 減) (B)+(C)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額 (△ 減)	繰越額	合 計 (A)			
高速鉄道事業 資本的収入	6,961,356	△ 127,820	0	0	6,833,536	5,497,206	960,000	△ 376,330
企業債	4,019,000	△ 103,000	0	0	3,916,000	2,865,000	768,000	△ 283,000
特例債	188,000	0	0	0	188,000	188,000	0	0
平準化債	1,171,000	0	0	0	1,171,000	1,171,000	0	0
資本費負担緩和分 企業債(借換)	292,000	0	0	0	292,000	292,000	0	0
出 資 金	1,031,000	△ 25,000	0	0	1,006,000	732,000	192,000	△ 82,000
他会計補助金	117,367	0	0	0	117,367	114,118	0	△ 3,249
国庫補助金	0	180	0	0	180	41	0	△ 139
その他資本的収入	142,989	0	0	0	142,989	135,047	0	△ 7,942
高速鉄道事業 資本的支出	10,647,318	△ 128,226	△ 58	0	10,519,034	9,202,910	960,632	△ 355,492
建設改良費	5,311,238	△ 128,226	△ 58	0	5,182,954	3,884,902	960,632	△ 337,420
企業債償還金	5,318,010	0	0	0	5,318,010	5,318,008	0	△ 2
投 資	60	0	0	0	60	0	0	△ 60
その他資本的支出	10	0	0	0	10	0	0	△ 10
予 備 費	18,000	0	0	0	18,000	0	0	△ 18,000
差 引	△ 3,685,962	406	58	0	△ 3,685,498	△ 3,705,704	△ 632	△ 20,838

(注) 1 消費税及び地方消費税込みの額である。

2 表中に用いた数値は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値とP11～P13における当該項目の数値が一致しない場合がある。

(参考) 資本的収支路線別予算決算比較表 (東西線)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和6年度予算額					令和6年度 決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	増 減 額 (△ 減) (B)+(C)-(A)
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	繰越額	合 計 (A)			
高速鉄道事業 資本的収入	2,654,360	0	0	15,000	2,669,360	2,520,318	0	△ 149,042
企業債	1,998,000	0	0	12,000	2,010,000	1,889,000	0	△ 121,000
特例債	305,000	0	0	0	305,000	305,000	0	0
平準化債	112,000	0	0	0	112,000	112,000	0	0
出資金	221,000	0	0	3,000	224,000	196,000	0	△ 28,000
その他資本的収入	18,360	0	0	0	18,360	18,318	0	△ 42
高速鉄道事業 資本的支出	5,675,028	0	58	15,004	5,690,090	5,529,822	0	△ 160,268
建設改良費	1,128,629	0	58	15,004	1,143,691	995,464	0	△ 148,227
企業債償還金	4,534,359	0	0	0	4,534,359	4,534,358	0	△ 2
投資	40	0	0	0	40	0	0	△ 40
予備費	12,000	0	0	0	12,000	0	0	△ 12,000
差 引	△ 3,020,668	0	△ 58	△ 4	△ 3,020,730	△ 3,009,504	0	11,226

(注) 1 消費税及び地方消費税込みの額である。

2 表中に用いた数値は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値とP11～P13における当該項目の数値が一致しない場合がある。

4. 建設改良事業の概要

(単位：千円)

科 目	令和6年度 事業費	主たる事業
建 物	676,728	ホーム乗降口隙間調整材設置
線 路 設 備	1,482	橋りょう検査路改修設計
電 路 設 備	1,409,714	電力管理システム更新
車 両	936,626	南北線車両更新
機 械 装 置	1,708,605	券売機及び精算機更新
工 具 ・ 器 具 ・ 備 品	31,608	軌道検測装置購入
その他無形固定資産	634	財務会計システム改修
受 託 工 事 費	2,038	線路設備改修設計
建 設 諸 費	112,931	人件費及び事務経費
計	4,880,366	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。